

## 令和 4 年度 支援事業 PTA 活動報告書

## 1. 申請者

申請代表 学校名	浜田市立三隅小学校
申請代表 会長名	浜田市立三隅小学校 P T A 会長 岡本 康宏
連絡先 学校電話番号	0 8 5 5 - 3 2 - 4 0 4 0 (学校担当者氏名: 川神 和子)
FAX	0 8 5 5 - 3 2 - 4 0 4 3

## 2. 事業計画

① 事業の名称
令和 4 年度 教職員研修&教育講演会 「ネット・ゲーム利用について考えてみよう！」 ～何に気をつければいいのかな?～
② 事業実施内容（開催日や参加者等も記載）
開催日 令和 4 年 1 1 月 2 1 日 参加者 教職員 1 8 名 5. 6 年児童 5 9 名 保護者 2 7 人 計 1 0 5 人 実施内容 情報教育アナリスト代表の長谷川陽子先生を講師に迎え、教職員研修&教育講演会を行った。 講演会は、児童や保護者の方にも聞いてもらうことができるように、学習公開日と合わせて二部構成で実施した。 一部～教職員, 5, 6 年生と保護者 二部～教職員, 保護者
③ 成果と課題
三隅中校区では、「タイムマネジメント」について小中連携教育の柱として行っている。本来は、令和 3 年度に小中連携教育の講演会として行う予定だったが、コロナ禍のため実施できなかった。 本年度は、三隅小学校の P T A 文化部主催、教育講演会として行うことにした。  成果◎と課題△ ◎昨年度もアンケートをとったが、今年度も同じアンケートをとることによって、三隅小学校としてのネット・ゲーム利用の実態がよく分かった。 ◎長谷川先生の講演は、ネット・ゲーム利用において何に気を付けることが必要なのか聞くことができた。 ◎児童の学力向上のためには、タイムマネジメントする力が大切だということが分かった。 ◎講演会を行うことで、本校の実態だけではなく、全国的な傾向も理解できた。また、文化部広報誌発行に合わせて講演の内容を紹介したり、長谷川先生から紹介していただいた資料を配付したりすることを通して、今後も学校と家庭が連携を図ることが大切であるということに気付くことができた。 ◎講演会には、参加できなかったけれど、文化部発行のカリヨンベルや長谷川先生からの資料をいただいたことで、家庭でゲームについての話し合いをすることができた。

△より多くの保護者に参加していただきたくて、学習公開日と合わせて設定したが、コロナ禍

であることで「行きたいけれど行けない。」という保護者の声があった。

△仕事の都合がどうしてもつかなくて行くことができなかった。

補足資料：添付します。

活動写真：添付します。

\*補足資料添付可。活動写真等ありましたら一緒にご提出ください。